

3. 人事・労務面への影響と課題

自動車産業の成熟化が叫ばれているなかで、人事・労務関係に関してであるが、企業自体は今後どのような課題が重要であると考えているのであろうか。9つの項目の中からひとつだけ選んでもらった。その結果、どの規模でも「要員合理化」がトップの課題として挙げられた。それに続いて、中・小規模の企業では「賃金負担」が多い。大規模企業では「教育・訓練」が第2位であり、中・小規模でも第3位と比較的多かった。今後予想される厳しい情勢において、原価の低減を図ることがまず大事で、その点で前二者のコスト関連要因が挙げられているのであろう。

それに対して「教育・訓練」は人的資源への投資であり、費用もかかる。産業の成熟化に向かって、従業員の能力を一層高めることによって、積極的に乗り切ろうとする姿勢が窺われ、我々の考えていた方向と軌を一にする。

では、どのような能力をいかにして高めようとしているのか、それが次の章の課題である。